長岡工業高等専門学校	開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	国語

科目基礎情報

科目番号	0007	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 3
開設学科	環境都市工学科	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	3
教科書/教材	『高等学校　精選現代の国語』（第一学習社）『精選言語文化』（東京書籍）『クリアカラー国語便覧』（数研出版）『音と形で覚える漢字の演習　改訂版』（明治書院）		
担当教員	堀口 真利子,黒田 知子		

到達目標

(科目コード　00010　Japanese)
この科目は長岡高専の教育目標の(A((B))と主体的に関わる.
この科目の到達目標と，各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を、到達目標、評価の重み、学習・教育目標との関連の順で次に示す。
①文章の叙述に即して内容を的確に読み取る力を身に付ける。30%(a1)、②さまざまな文章を読んで、ものの見方・感じ方・考え方を広げる。30%(a2)(b1)、③常用漢字の読み方・書き方に習熟する。10%(b2)、④文語のきまり、漢文訓読のきまりなどを理解する。10%(a1)(b1)、⑤国語表現の特質を理解し、言語表現への関心を高める。20%(b2)
（授業計画の週は回と読替えること）
なお、具体的に第何回目の授業を遠隔授業とするかはシラバスに明記しなくても良い。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	基礎的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	文章の叙述に即して内容を的確に読み取る力がある。	文章の叙述に即して内容を的確に読み取る力が概ねある。	文章の叙述に即して内容を読み取る基礎的な力がある。	左記に達していない。
評価項目2	さまざまな文章を読んで、ものの見方・感じ方・考え方を広げることができる。	さまざまな文章を読んで、ものの見方・感じ方・考え方を広げることが概ねできる。	さまざまな文章を読んで、ものの見方・感じ方・考え方を基礎的なレベルで理解できる。	左記に達していない。
評価項目3	常用漢字の読み方・書き方に習熟している。	常用漢字の読み方・書き方に概ね習熟する。	基礎的な常用漢字の読み方・書き方を身に付けている。	左記に達していない。
評価項目4	文語のきまり、漢文訓読のきまりなどを理解する。	文語のきまり、漢文訓読のきまりなどを概ね理解する。	文語のきまり、漢文訓読のきまりなどの基礎的な知識がある。	左記に達していない。
評価項目5	国語表現の特質を理解し、言語表現への高い関心を持っている。	国語表現の特質を理解し、言語表現への関心を持っている。	国語表現の特質と、言語表現に関する基礎的な力がある。	左記に達していない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	中学校での学習を発展させ、国語を正しく理解し、適切に表現するための力を養う。3単位中おおむね2単位を現代文・国語表現に、おおむね1単位を古典に当て、1年間の学習を通して、思考力を向上させ、情操を豊かにし、伝え合う力を高める。また、言語文化の諸相に触れることによって、自らの世界観を広げ、言語生活を充実させる態度を育てる。 ○関連する科目：国語（1～4年），文学Ｉ（４年後期），日本言語文化（専攻科１年後期）
授業の進め方・方法	前期は遠隔授業を実施する。面接授業では担当者の講義に加え、学生に意見を求めたり、質問をしたりしながら、文章理解を深めていく。 適宜、グループで話し合った内容をまとめ、発表してもらう機会を設ける。
注意点	平生の予習・復習を欠かさないことが何よりも重要である。授業で扱う教材は、事前に必ず通読し、語句の読みや意味を調べておくこと。特に、古文・漢文については、音読の練習を欠かさないこと。また、辞書や参考書を活用する習慣を身に付けること。

授業の属性・履修上の区分

☐ アクティブラーニング	☐ ICT 利用	☐ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス・学習課題の提示	授業の進め方の解説と、学習課題の提示。
		2週	小説の読解（1）	基本的な語彙と内容を理解する。
		3週	小説の読解（2）	基礎的な語彙と短編小説の内容を確認する。
		4週	小説の読解（3）	登場人物の心情を理解し、短編小説の主題について理解する。
		5週	古文の学習（1）	基礎的な古語の意味を確認する。
		6週	古文の学習（2）	文法事項を理解し、本文の解釈ができるようにする。
		7週	前期中間試験	学習のまとめと振り返り。
		8週	評論の読解（1）	基礎的な語彙と評論文の構成を確認する。
	2ndQ	9週	評論の読解（2）	評論文の主旨を理解する。
		10週	評論の読解（3）	評論文が指摘する現実社会の問題について理解する。
		11週	漢文の学習（1）	漢文訓読の基礎に触れる。
		12週	漢文の学習（2）	漢文の基本的な訓読法を確認する。
		13週	漢文の学習（3）	漢文の重要な句法を理解し、全体の要旨をつかむ。
		14週	国語表現の実践（1）	文章表現の基礎を学ぶ。
		15週	国語表現の実践（2）	自分の伝えたいことを言葉で正しく表現できるようにする。

		16週	前期末試験 １７週試験解説と発展授業	学習のまとめと前期学習の振り返り。
後期	3rdQ	1週	小説の読解（3）	標準的な語彙を確認し、全体の構成を理解する。
		2週	小説の読解（4）	登場人物の心情を文脈のなかで理解し、自分の意見を述べることができる。
		3週	小説の読解（5）	小説の主題を理解するとともに、自分の身近なことと関連させて考えを広げることができる。
		4週	古文の学習（3）	標準的な古語の意味を確認する。
		5週	古文の学習（4）	古文の文法事項を確認し、全体の主旨を把握する。
		6週	古文の学習（5）	本文全体を通じて、リズミカルに読み、解釈をつけられるようにする。
		7週	後期中間試験	50分。学習のまとめと振り返り。
		8週	評論の読解（3）	標準的な語彙と高度な評論文の構成を確認する。
	4thQ	9週	評論の読解（4）	評論文全体の主旨を理解する。
		10週	評論の読解（5）	本文の問題提起を理解し、現代社会における私たちの身近な問題に関連させて考えを深めることができる。
		11週	国語表現の実践（3）	自分の考えを相手に分かりやすく伝えるための表現の工夫ができる。
		12週	漢文の学習（3）	標準的な漢文の句法を理解する。
		13週	漢文の学習（4）	歴史的背景とともに、文学的な位置づけを理解する。
		14週	漢文の学習（5）	時代背景を考慮しながら、登場人物の心情を理解する。
		15週	国語表現の実践（4）	自分の考えを相手に分かりやすく的確に伝える論理的な文章を作成する。
		16週	後期末試験 17週試験解説と発展授業	50分。 学習のまとめと振り返り。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	試験（前期）	試験（後期）	その他				合計
総合評価割合	45	45	10	0	0	0	100
基礎的能力	45	45	10	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0